

一、ことばの単位

つぎの文章を読んであとの問いに答えましょう。

これは、わたしが小さいときに、村の茂平もへいというおじいさんから聞いたお話です。

昔は、わたしたちの村の近くの中山という所に、小さなおしろがあつて、中山様というおとの様がおられたそうです。

その中山から少しはなれた山の中に、「ごんぎつね」というきつねがいました。ごんは、ひとりぼっちの小ぎつねで、しだのいっばいしげった森の中に、あなをほって住んでいました。そして、夜でも昼でも、辺りの村へ出てきて、いたずらばかりしました。畑へ入つていもをほり散らしたり、菜種なたねがらのほしてあるのへ火をつけたり、百姓家ひやくしやのうら手につるしてあるとんがらしをむしり取つていたり、いろいろなことをしました。

新美 南吉「ごんぎつね」より

一、この文章はいくつの段落からできていますか。

答え(三)つ

二、この文章はいくつの文からできていますか。

答え(六)つ

三、つぎの文を「」を入れて文節に区切りましょう。

ごんは、／ひとりぼっちの／小ぎつねで、／しだの／いっばい／しげった／森の／中に、あなを／ほって／住んで／いました。